

『徹底チェック刑法』

(C. H.・法科大学院生)

刑法の事例問題に苦手意識があるため、自習用の教材として本書を使用しました。基本書で学説・判例は一通り学び、理解したつもりではあるのですが、実際の試験では事例を読んで、それに即した網羅的な検討をしなければならず、別のステップの勉強が必要なのではないかと感じていたためです。特に共犯について、答案全体の構成が変わるような論点(たとえば、共謀共同正犯、共犯の離脱等)が多くて難しく、頭の整理の助けとなる教材を探していました。

本書は簡潔な事例問題で、刑法総論・各論の内容を一通り確認できるという点で、論点の理解から事例の分析をどう構築するか学べるという印象を持ちました。事例が簡潔なため、事実の評価の検討を削ぎ落として、ある程度一般化した事例のパターンとして理解しやすく、頭に入れやすいです。共犯についてはしっかり4章割かれており、個人的にはとても助かります。解説も簡潔で、端的にまとめてあるため、私のように、基本書は一通り学んだうえで、事例問題を解くにあたって一冊目の問題集を探している方におすすめかと思います。